

# 第3学年 道徳学習指導案

日 時 令和3年11月5日（金）

場 所 3年 組教室

授業者

- 1 主題名 寄りそう中で
- 2 資料名 加山さんの願い
- 3 主題構成表

**■内容項目**  
C-（12）  
社会参画の意識と社会連帯の自覚を高め、公共の精神をもってよりよい社会の実現に努めること。

**■価値の分析**

- ・地域社会とのつながりは、自らの役割を自覚したり、そのコミュニティで役に立てたりすることで強くなる。地域での活動で、地域社会に生きる1人として関わるとともに、地域に支えられている実感を得ることで貢献し、支え合おうとする意識が培われる。
- ・現代社会では人間関係が希薄になっており、他者に対する配慮を欠いたり、自己中心的な考えに至ったりすることもある。自分勝手な言動をよくないと思う心が内面にあるが、誰もが臨むよりよい社会の実現に向けて地域社会に参画する意義を感じることができる。
- ・地域の中で自分の役割に気付くことや、そうすることで地域での助け合いの精神が育まれることに気付かせたい。

また、地域社会のコミュニティをよりよいものにするために、互いに助け合い、励まし合うことが必要であることに気付かせたい。

**■内容項目から見た生徒の実態**

- ・学校で行っているボランティアに参加する生徒も増えてきたが、まだ地域のために進んで取り組もうとする意識は低い。
- ・生徒は地域での資源回収などの活動を通して、地域との関わり大切さに気付いており、小学生の頃から見守り隊の方に声をかけてもらっているため、地域との関わりに温かさを感じている生徒は多い。
- ・地域社会において、自分も重要な1人であることを自覚し、進んで関わっていこうとする意欲は低い。

**■要因**

- ・小学生の頃から地域の方に見守っていただいているが、自分たちが地域のために行動するという意識が低い。
- ・これまでの総合的な学習の時間の中で、地域との関わりをもち、その温かさに気付く経験ができていない。

**■資料の分析**

- ・地域のご老人のために「何かをしてあげたい」と感じる加山さんが中井さんと関わる中で「してあげる」ではなく、地域の一員として共に支え合うことが大切だと気付く資料である。
- ・加山さんは、ボランティアは「してあげる」と捉えて活動に取り組んでいる。何かをしてもらうことが嫌いな中井さんに断られ、腹を立てる加山さんの心情に共感させつつ、地域と共に支え合って生きていくことが大切であることに気付かせたい。
- ・これまでどのような考えでボランティア活動に取り組んでいたかを振り返らせたい。また、地域社会における自分たちのボランティア活動は地域の活性化や施設を充実させるだけでなく、地域と自分とのつながりを作り出すものであることや、互いに助け合うことが重要であることに気付かせたい。

**■ねらい**  
主人公のボランティア活動をきっかけに社会連帯の必要性に気づき、地域社会の一員としてよりよい社会を築こうとする意欲を育てる。

**■展開の構想**

- ・これまで自分が行ったことがあるボランティア活動を問い、自分の活動を振り返る。
- ・中井さんに腹を立てる気持ちを考えさせることで、ボランティアを「してあげている」という主人公の気持ちに共感させる。
- ・ボランティア活動は互いに支え合うことが必要であることに気づき、地域において進んで関わりを持つようとする意欲を高める。
- ・防災士の方のお話を聞き、地域とのつながりによって、互いを守ることができることを知り、ボランティアや日々のつながりが防災にも関わることに気付く。
- ・授業を通して意識の変化を確認し、普段の生活で大切にしたいことをまとめる。

**■基本発問（◎中心発問）**

- これまでどんなボランティア活動に取り組んできたか。
- すごすごと帰る加山さんはどんな思いだっただろう。
- 加山さんの肩の力みが抜けて楽になったのはなぜだろう。
- ◎資料を読んで、地域社会の一員として支え合って生きるために大切なことは何だろう。
- 地域社会で自分が役に立てることはどんなことだろう。

#### 4 道徳の時間(本時)と他の教育活動との関連

<場の内容・ねらい>

##### ■ふるさと大垣科

「地域防災」

・「助けられる中学生から助ける中学生に」という視点で、避難情報に対して取るべき行動を知り、HUGを通して災害が起きた際にどのように対応するべきかを理解する。

##### ■地域奉仕活動

「資源回収・地域防災訓練・地域清掃活動・1家庭1ボランティア」

・地域の方とのふれあいを通してその温かみを感じるとともに、地域に貢献できる自分を自覚することができるようにする。

##### ■道徳の時間

「加山さんの願い」

内容項目 C-(12)

・主人公のボランティア活動に対する心情の変化について話し合うことを通して、自分の地域に対する関わり方を見つめ、よりよい社会を築こうとする意欲を育てる。

##### ■総合的な学習

「防災力の高い街づくり」

・地域の特性を知り、防災のために自分ができることを考える。また、防災の「共助」の面でも中学生である自分たちの力で地域の被害を抑えられることを知る。

##### ■日常生活

<挨拶>

・学校での挨拶の活性化が地域でも生き、地域の方々にも進んであいさつをすることで、関わりを強くすることができる。

<ボランティア活動>

・資源回収や切手回収を通して、自分たちの行っているボランティア活動が地域の役に立っていることを自覚する。また、自分にできる簡単なことで助かっている人がいる事実を知ることができる。

<MSJリーダーズ>

・MSJリーダーズの取組を通して、マナー改善や事故防止などを呼びかけることで、地域とのつながりを生むことができる。

##### ■教科

<社会科>

・公民の学習を通して、よりよい社会を作っていくのは自治体の力だけでなく、自分たちの社会活動の参加も重要な要素であることに気付く。

<生徒の意識>

・災害は身近なものではなかったけれど、大垣で実際に起きた災害を見ると、助けられるだけでなく、自分で備えなければいけないという意識が生まれる。

・資源回収は自分たちの学校生活や地域の生活をよくするための活動だから頑張りたい。  
・自分の参加がそんなに大事だとは思えない。地域にどう活かされているのかわからない。

・ボランティアの活動が、地域の支えになっていることが分かった。様々なボランティアに取り組みたい。  
・これから、ボランティア活動以外にも地域との関わりを持てるようにしたい。

・防災は個人の意識だけではなく、地域の連携が必要。中学生の自分たちにできることをして、支え合って災害を乗り越えなくてはならない。  
・中学生だからできることをしたい。

<指導・援助>

・災害について知り、特に自分の住む地区での浸水の被害や、非難の仕方、避難所の運営の仕方についてまとめる。  
・避難所までのルートを確認し、家族や地域の人で1人では移動できない人を確認する。

・資源回収を通して、地域、学校の活動や生活を豊かにする事実を伝える。  
・資源回収で地域の人と関わりを持つことで感じたことなどを生活の記録にまとめさせる。

・地域の人との関わりにより、ボランティアは互いの助け合いが必要であると気付く主人公に共感することで、地域へのよりよい関わり方を考えられるようにする。

・災害を乗り越えるための街の設備だけでなく、地域との支え合いの視点から互いを守り合うために必要なことを考えられるようにする。

5 本時の展開

	基本発問と予想される生徒の反応	指導・援助
導入	<p>1. 価値に関わる自分の行動や考えを振り返る。</p> <p>○これまでどんなボランティア活動に取り組んできたか。また、どんな思いで取り組んできたかを問うアンケートの結果を提示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・資源回収。特に理由はないが地域で開かれているから取り組んだ。</li> <li>・大垣祭クリーン作戦。大好きな祭の成功に少しでも役に立ちたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアに対する学級の意識を確認し、自分の取り組み方を振り返る。(タブレット使用)</li> </ul>
展開前段	<p>2. 資料「加山さんの願い」を読んで話し合う。</p> <p>○すごすごと帰る加山さんはどんな思いだったのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・なんであんなに怒っているのだろう。</li> <li>・わざわざ訪ねてやっているのに、ひどい言い方だ。腹が立つ。</li> <li>・せっかく身の回りの世話をしあげようというのに、あんな言い方はないだろう。</li> <li>・善意でやっているのに感謝されないのはむなしい。</li> </ul> <p>○加山さんの肩の力みが抜けて楽になったのはなぜだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・感謝されて嬉しかった。</li> <li>・たくさん話して、中井さんのことが分かってきた。</li> <li>・中井さんと友達のようになれて、嬉しかった。</li> <li>・してあげることより、相手を思うことが大切であることに気付けた。</li> </ul> <p>◎資料を読んで、加山さんが地域社会で生きる一員として、互いに支え合っていくために大切なことはなんだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手を大切にすること。</li> <li>・自分の押しつけでは支え合うことはできないこと。</li> <li>・自分の思いだけでなく、相手を尊重して関わり合うこと。</li> <li>・地域の人との関わりを大切にし、助け合う関係を築くこと。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中井さんに厳しく言われて帰る加山さんの心情について考えさせる。</li> <li>・中井さんにどういう思いで接していたかを問いかけることで、何かをしてあげたいという意識が働いていたことに気付かせる。</li> <li>・加山さんのボランティアに対する意識が自分本位なものであることに気付かせる。</li> <li>・義務感や押しつけではなく、相手の気持ちを捉えられるようになった加山さんの心情の変化を捉えさせる。</li> <li>・地域住民の1人としての素直な関わりをもつことで、相手の立場に立って考えるようになった加山さんの変化に気付く。</li> <li>・ボランティアなどを通して作られるつながりが、地域社会において助け合う関係を築くことにつながることに気付かせる。</li> <li>・アンケートの意見を再度確認させ、「押しつけ」や「形だけ」になっている自分に気付かせる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p><b>【評価の視点】</b></p> <p>主人公の加山さんを自分に置き換えて考え、ボランティアは押しつけではなく、相手と自然に支え合うことであることを理解し、今後の活動に活かそうとしている。</p> </div>
展開後段	<p>3. 本時の学習を振り返る。</p> <p>○地域社会で自分たちが役に立てることはどんなことだろう。</p> <p>(ゲストティーチャーの話を聞く)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いざという時に関係を作っていたからこそ助けられるということもあるので、普段しているあいさつも、大切にしていきたい。</li> <li>・ボランティアをすることで、地域の現状が分かったり、地域の方とのつながりが強くなったりする。「助ける中学生」を目標としている私たちだから、もっと進んで関わられるようになりたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・導入のアンケートを再提示し、ボランティアにおける地域とのつながりが、非常時に互いを助けることに気付かせる。</li> <li>・地域でボランティアを行っている方のお話を聞き、普段から地域との関わりを大切にし、災害に備えようとしていることに気付かせる。</li> <li>・本時の学習を通して、ボランティアへの意識がどう変わったかを再度アンケートを採る。また、導入のアンケートと比較する。(タブレット使用)</li> </ul>
終末	<p>4. 東日本大震災で、中学生が地域の防災のために動いた記事を紹介する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域との関わりがあったからこそ、自分だけでなく地域を守ることができたことに気づき、普段何気なく行うボランティア活動がそのきっかけになることをおさえる。</li> </ul>